

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団
団長 渡辺敏光
電話・fax 31-6431
w-toshi@agate.plala.or.jp
松本敏子
電話・fax 59-4607
mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党平塚市議会議員団
電話 0463-23-1111 (内線 2375)
平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

日本共産党議員団の法律相談
今回は6月13日です。
午後1時 (要予約)

No.1027 2009年5月10日発行

第80回平塚地域中央メーデー 5月1日 八幡山公園で！

5月1日、今年で80回となる平塚地域中央メーデーが八幡山公園において行われました。

「働く者の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本を目指そう」のスローガンのもと、21団体・372名が集い、元気にMNビル前まで行進しました。



集会では、JMIU・鶴養委員長、自由法曹団の岡村弁護士、共産党衆議院15区予定候補の西脇たくや氏ら多数がマイクで連帯の挨拶を行い、大蔵市長も今年も激励の挨拶をされました。

今年のメーデーは、非正規労働者に対する「派遣切り」「期間工切り」が大きな社会問題となっている中で開かれ、自治体に対し「職を失い、住居も失った労働者に対し、緊急な支援を」などの要望が読み上げられ

上記のメールアドレスまたは電話にて、皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。



ました。
また今年2月、平塚にある日産車体湘南工場で派遣切りにあった若者からは、仕事内容や雇用期間からしても、派遣切りは不当であるとして訴えを起こすとの決意が述べられ、会場から激励の拍手が起こりました。

憲法を守り、生かそう！



日本共産党平塚市委員会と党市議会議員団は、毎年5月3日の「憲法記念日」に、宣伝カーやハンドマイクで「今日は、ほんの少しでもいいから家族で憲法について考える時間を！」と訴え、特に日本が憲法9条を持っている意義を考えてほしいとお願いしています。

今年は、西脇たくや氏をはじめ、渡辺議員団長、松本議員、高山和義・くらし福祉相談室長、地域の仲間など10数人が市内各地で宣伝行動を行いました。

憲法施行62回目の3日、全国で「憲法を守り、生かそう」と様々な集会や行動が開催されました。

東京では「憲法集会」が日比谷公会

堂で開かれ、作家の落合恵子氏は歌をまじえて、ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏はユーモアをまじえて訴えました。

社民党の福島みずほ党首、日本共産党の志位和夫委員長も出席され、志位委員長は、憲法九条には、「二度と戦争を起こしてはならない」という決意とともに、「核戦争を絶対に阻止したい」という願いが込められており、それを世界の人びとによびかけたところに、この条文の世界史的意義があるとのべ、「核兵器のない世界、そして戦争のない世界を築くため、ともに力を合わせよう」と訴えました。

新型インフルエンザに対する対応

平塚市のホームページでは、次のように掲載し、注意を喚起しています。

メキシコ、米国等でヒトへ感染する新型インフルエンザが発生しました。

日本での発生は、現時点では見られていませんが、新しい情報が入り次第、市民の皆様へお知らせいたします。

なお、本市では平成21年4月28日(火)に新型インフルエンザに関する平塚市危機管理対策会議を開催しました。

【予防方法について】

まず、通常のインフルエンザと同じ、基本的な対策を行ってください。

- (1) しっかりと手を洗い、うがいをする
- (2) マスクを着用する
- (3) 体力や抵抗力を落とさない
- (4) ドアノブなどいろんな人が触るものを、清掃・消毒する

そして、外出を控え、人がたくさん集まるところに行くことを極力控えてください。また、普段から食料品やマスクなどの防護用具、各種日用品を備えておきましょう。



【問い合わせ先について】

- 流行地から帰国し、10日以内に発熱した場合や、医療機関の紹介などはこちらへ
 - * 神奈川県保健福祉総務課 (9:00~21:00)
045-633-3777
 - * 平塚保健福祉事務所(発熱相談センター)
0463-32-0130
(9:00~17:00)
- 一般的な問い合わせはこちらへ
 - * 厚生労働省
03-3501-9031
 - * 平塚市健康課(保健センター)
(8:30~17:00)
0463-55-2111
- 流行地に渡航する場合についてはこちらへ
 - * 外務省領事局政策課(海外医療情報)
03-3580-3311
内線2850
 - * 外務省海外安全相談センター(個別安全情報等)
03-3580-3311
内線2902



4月28日 新型インフルエンザに関する 危機管理対策会議を開催

世界保健機構(WHO)が新型インフルエンザの警戒レベルをフェーズ4に引き上げたことを受け、4月28日午後4時、平塚市危機管理対策会議(議長・鍵和田副市長)を開きました。

《経緯》

- ・4月25日(土) 神奈川県保健福祉部からメキシコ及び米国におけるインフルエンザ様疾患の発生状況について通知があった。
- ・4月27日(月) 午前9時 第1回平塚市新型インフルエンザ対策調整会議(健康・こども部健康課所管)を開催した。
- ・4月28日(火) 午前8時 神奈川県が危機管理対策本部を設置。

午前11時 神奈川県は、新型インフルエンザ対策に関する市町村会議を開催した。

午後1時30分 第2回平塚市新型インフルエンザ対策調整会議を開催した。

午後4時 平塚市危機管理対策会議を開催した。

◆今後の事態の推移によりゴールデンウィーク中も平塚市危機管理対処方針に基づき緊急連絡体制をとり、必要に応じて危機管理対策会議を開催する。

《今後の対応》

◆市民病院

県の要請に備えて発熱外来の設置を準備。市内で患者が発生した場合に備え市民病院感染症病棟(6床)を確保する。

◆小・中学校、幼稚園、保育園

予防対策としてうがい手洗いの励行を指導する。

◆消防署

発熱・せき患者を救急搬送時に渡航歴を確認する。

◆相談窓口

平日は、平塚保健福祉事務所(0463-32-0130)を案内し、休日(午前9時~午後9時)については神奈川県保健福祉総務課

(045-210-4612・4634)を案内する。

なお、市役所健康課(55-2111)でも当面の間、土日祝日も含め午前8時30分~午後5時相談を受け付ける。

